

住宅用火災警報器は、 10年を目安に交換を おすすめします！

New

Old



住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、**火災を感知しなくなることがある**ため、10年を目安に交換しましょう。

【設置時期を調べるには】火災警報器を設置したときに記入した「設置年月」、または、本体に記載されている「製造年」を確認してください。

新しい火災警報器に交換したら、本体の側面などに油性ペンで「設置年月」を記入しましょう。

「いざ」という時に住宅用火災警報器がきちんと働こう、
日頃から動作確認を行いましょう！

作動確認のしかた

正常なら以下のように鳴ります。



ピーピーピー
火事です ※



ピーピーピー
火事です ※

ボタンを押しても（ひもを引いても）作動しないときは、
以下のことが考えられます。



- ▶ 電池は、きちんとセットされているかご確認ください。
- ▶ それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」ですので、取扱説明書をご覧ください。

また、「電池切れ」や「機器本体の故障」の場合は、速やかに電池や機器本体の交換をお願いします。



※この警報音は代表例です。
(出典)一般社団法人 日本火災報知機工業

お問い合わせ

西尾市消防本部 予防課 予防査察担当

TEL: 0563-56-2143 (8:30~17:15)